第3種郵便物認可　朝日新聞　2015年(平成27年)6月1日

6/17

情熱アフタースクール

北杜市立明野中学校
気象観測委員会

「日照時間、日本一」を証明

北杜市立明野中学校の気象観測委員会の活動は「アフタースクール」でなく「ビフォースクール」。毎朝、学校の向かいにある観測所で気温や湿度、降水量、日射量、日照時間などの前日分のデータを記録し、校内のボードに記入する。気象観測は1980年から続けており、毎年、冊子にして地域に公開する。地域からの問い合わせもあるといい、地域産業発展のため活用されている。

こうした活動を評価され、2015年度の県環境保全功績者表彰を受けた。その報告のため15日、委員長の凪陸弥さん(14)と藤巻夏帆さん(14)が白倉政司市長を市役所に訪ねた。「『日照時間、日本一』を証明してくれたのが、長坂町での世界初のソーラーパネル実証研究に結びついた。大変ありがたい」と白倉市長にねぎらわれ、2人ははにかんだ。

同席した市職員に苦労を聞かれ「朝早いのがちょっと。午前7時20分、部活動の前に記録します」と藤巻さんが答えた。凪さんは困ったように「大丈夫です」。共に3年生で1年から続けるベテランだ。

気象庁の観測地点は全国にあり、同市内では大泉町に設置されている。北杜市は「日照時間、日本一」をうたっているが、大泉町のポイントでの観測では、日照時間全国一ではない。明野中学が旧明野村時代から毎日、データを観測し、初めて分かったのだ。

日照時間が長いのは、町の一番低い所を北から東南に塩川が流れ、1年を通じ川沿いに風が吹き、上昇気流が起きにくく、茅ケ岳に雲がかからず、陽光が届く地形からとされる。

委員会なので、生徒は各学年、各クラスから計14人。1学期は3年、2学期は2年、3学期は1年が記録を担当する。1日でも欠けると正確なデータがとれないが昨年9月、データを媒体に記録する装置がつき、はるかに楽になった。

「毎朝、大変だけれど、これからも続けたい」と凪さん。藤巻さんは「歴史を守ってくれるよう、後輩に引き継ぎたい」と話した。

(渡辺嘉三)

2坪の観測小屋にある観測装置を示す凪(なぎ)陸弥さん。右下のプリンターの数値を用紙に書き写す＝北杜市明野町

北杜市立明野中学校気象観測委員会　凪陸弥委員長／委員会メンバー14人／2015年度の県環境保全功績者表彰を学校として受けた。

こだわりアイテム

ホワイトボード　学校の玄関を入った正面に設置してある。生徒たちは登校時、気象観測委員会のメンバーが記録した前日のデータを目にする。生徒に明野中の誇りをアンケートしたところ、木をふんだんに使った校舎の次に、気象観測を挙げたという。委員会メンバーの地道な日々の作業と誇りを支え続ける大切なアイテムだ。

て、雨の日が待ち遠しかった。こんな気持ちはとっくに卒業したと思っていた。

この春、立ち仕事で疲れないように、ヒールが低く、なおかつ女性らしい靴が欲しいと思い、久しぶり履ける、というのがとてもうれしい。

お気に入りの雨靴を持つ。たったそれだけで、天気に左右されがちな梅雨どきの心がだいぶ穏やかに、上向きになるものだ。

次回のテーマも「雨の日の過ごし方」

マージ
1人で
甲府市
佐野

うっとし
季。雨が降
て過ごそう

がんと
家族の
来月
脳腫瘍(しゅよう)で
告された母
姿を描いた
の家族」の
日、甲府市
立文学館で
期医療や高
組むNPO
ピス協会」

旅館な
県警と
「安全な
県警は日
する旅館、
ンなどを相
に関する情
ーク構築の
のほど協定